

三条市子ども発達ルーム 児童発達支援事業
【公表】 事業所における自己評価総括表

作成日：令和7年4月1日

保護者評価	実施期間：R6.4.1～R7.3.31 有効回答数：43人(回答者数)/77人(対象者数)
従業者評価	実施期間：R7.1.1～R7.1.31 有効回答数：13人(回答者数)/13人(対象者数)

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取り組みなど	更に充実を図るための取り組みなど
1	・市の直営事業所のため、地区担当保育士や保育所等と連携を密に図ることができる。	・支援の切れ目がないように、定期的に各関係機関と情報共有できるよう連携を図っている。	・保育所等地域へ足を運ぶ機会を増やしていく。
2	・適切な支援を提供するため、スタッフ間で日々支援内容を検討している。	活動前後にカンファレンスを行い、活動内容の検討を実施することや週に1回支援会議を行い適切な支援が提供できるよう取り組んでいる。	専門機関での研修や他児童発達支援事業所と連携・情報共有等を行い、指導者のスキルアップを図る。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている 課題の要因など	改善に向けて必要な取り組みや 工夫が必要な点など
1	・保護者支援に重きを置いている事業所ではあるが、就労している保護者が多いため利用者の利用回数を増やすことが難しい。	・就労している保護者が多いため。	・対応できる範囲で、指導時間や回数を保護者と相談しながら調整をしていく。
2	・子育て支援講座を実施しているが講座の回数や実施時期を検討する必要がある。	・就労している保護者が多いことから、平日の開催だと参加できない保護者がいる。	・講座の参加者から好評をいただいていることから、開催時期や開催の回数を検討する。